

要素訓練結果報告の概要【埋設事業部】

1. 訓練の目的

本訓練は、廃棄体を吊った払い出し天井クレーン吊具の構内輸送車両上への落下に伴う、廃棄体の内容物漏出および廃棄体への火災の延焼に対する通報訓練、救護訓練、避難誘導訓練およびその他訓練に関する能力の習得・向上を目的とする。

2. 実施日

2014年2月20日(木) 2月25日(火)
(訓練ごとの実施日は、「添付資料」参照)

3. 実施場所

事業部対策本部室および低レベル廃棄物管理建屋

4. 実施体制、評価体制および参加人数

(1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

(2) 評価体制

定められた手順書等に基づき、通報・プレスの対応活動、現場対策活動が実施できるかを実施責任者が評価する。

(3) 参加人数

「添付資料」のとおり。

5. 原子力災害想定の概要

廃棄体を吊った払い出し天井クレーン吊具の構内輸送車両上への落下に伴う、廃棄体の内容物漏出および廃棄体への火災の延焼を想定する。

6. 防災訓練の項目

要素訓練

7. 防災訓練の内容

(1) 通報訓練

(2) 救護訓練

(3) 避難誘導訓練

(4) その他訓練

8 . 訓練結果の概要

(1) 通報訓練

社外への通報連絡として、火災発生時のA情報、原災法第10条通報、原災法第15条報告、原災法25条報告の通報文を作成するとともに、通報連絡対応者によるFAX送信および電話連絡を実施した。

(2) 救護訓練

構内輸送車両運転手の負傷に伴い、救護活動(避難場所での負傷者の引き渡し、社内診療施設への搬送、診察・治療)を実施した。

(3) 避難誘導訓練

作業員、見学者・見学随行者の点呼確認を行うとともに、現場指揮所付近へ一時退避した。避難ルート of 状況、風向き等の確認後、退去必要者の集合場所である体育館へ避難した。

(4) その他訓練

施設の被害状況、事象の進展状況等、必要な情報の報告、事象収束に向けた現場対策活動(廃棄体の養生作業等)を実施した。また、現場対策活動状況について対策本部へ情報共有した。

9 . 訓練の評価

通報訓練については、手順書どおり実施できることを確認した。

また、応急処置訓練、避難誘導訓練、救護訓練については、現場の対処方法、対応要員との連携にあたっての注意事項を理解した。

訓練ごとの評価結果および今後に向けた改善点は添付資料のとおり。

以上

添付資料
要素訓練の概要

要素訓練の概要

訓練項目	実施日	実施体制 実施責任者 実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(1)通報訓練	2014/2/20 2014/2/25	本部事務局班長 本部事務局員	10名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生時のA情報、原災法第10条通報、原災法第15条報告、原災法25条報告の通報文について、必要事項が漏れなく作成された。 ・通報連絡対応者によるFAX送信および電話連絡(模擬者を設定)について、通報時間内(火災発生時のA情報:15分以内等)で実施できた。 	繰り返し訓練を行い、習熟度を高めて行く。
(2)救護訓練	2014/2/25	救護班長 救護班員	4名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所での負傷者の引き渡し、社内診療施設への搬送、診察・治療(模擬)への対処ができた。 	繰り返し訓練を行い、習熟度を高めて行く。
(3)避難誘導訓練	2014/2/20 2014/2/25	総務班長 総務班員	7名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難した作業員、見学者・見学随行者の点呼確認ができた。 ・避難ルート of 状況、風向き等の確認、退去必要者の集合場所である体育館への避難ができた。 	繰り返し訓練を行い、習熟度を高めて行く。
(4)その他訓練	2014/2/20 2014/2/25	設備応急班長 設備応急班員	7名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の被害状況、事象の進展状況等、対策本部へ必要な情報が適宜報告できた。 ・事象収束に向けた現場対策活動(廃棄体の養生作業等)が適切に対処できた。 	繰り返し訓練を行い、習熟度を高めて行く。